

～～第8710回～～

宮路山縦走（三河）

～R1. 6. 16～

参加者6名のうち5名がJR浜松駅に集合し、途中新所原駅で1名が乗車し名鉄赤坂駅に向かった。降車後、準備体操をして、真正面に見える宮路山に向かって歩き出した。国道1号線を横切り、古い町並みが残る旧東海道を進んだ。しばらく閑散とした林道を進み、大きな案内板があるところから山道に入った。山道は訪れる人も多いためよく整備されていた。頂上近くではボランティアの人達が山道の下草を刈っていた。このような人達によって快適な登山ができるのだと感謝して登って行った。突然開けた所が頂上であった。南東側の見晴らしは良く、三河湾と豊橋の町並みが一望できた。そこから尾根伝いに五井山に向かって縦走だ。木が生茂り展望は聞かない。風が強くと木々を揺らしていた。途中林道をいくつか横切り、明るく開けた所に出た。そこが五井山頂上であった。ベンチがあり多くの登山者がいた。そこも南に開け、展望の利くところであった。渥美半島から遠く三重の山並みも見えて取れる。そこで昼食をとってしばらく展望を楽しんだ。五井山からは林道を降り、途中から山道を降りていった。途中に石仏が角ごとに多くあり、信仰の山が見て取れる。下りきったところが国坂峠だ。交通量の多い広い道路を横切って、イノシシやシカ避け用の柵を通り、登り返した。しばらく尾根伝いに進むと御堂山に着いた。そこは、丹野城跡であった。案内板や祠があり昔の面影が感ぜられた。そこから急な階段を降り、平らな場所に出た。そこは相楽山荘跡で公園になっていた。マダニ注意の看板があちこちに建っていたため、山道の真ん中を歩き、出来るだけ草に触れないようにした。いよいよ最後の山、砥神山に到着。この山は双耳峰となっていた。そこから山を下って平地に出た。ミカン畑などが広がり、のどかな雰囲気であった。ようやく三河三谷駅に到着し、この山旅が修了した。

参加者：6名

天気：晴れ

地図：御油・赤坂

コースタイム：浜松駅 719++豊橋駅 815++名鉄赤坂駅 829…宮路山 1005…五井山 1140-1220…国坂峠 1310…御堂山 1410…砥神山 1500…JR 三河三谷駅 1630++浜松駅 1753

記録：浜松支部 T. M